

福祉だより

ぬくもり

第39号

平成20年6月19日

西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長 蘆田 敏郎

去る五月十八日、当分区の指針を決める代議員総会を市社協・陶木事務局長、中西山口支部長、梶山口分区長、渡瀬小学校長各自治会を始めとする各団体長の皆様のご臨席を頂き、開催致しました。議事は、平成十九年度事業報告と決算、二十年度事業計画と予算が加賀山氏の議長のもと、各種団体選出代議員の皆さんの賛成多数によって可決承認されました。このご報告いたしますとともに、昨年度のご協力に感謝致します。本年度も倍するご支援をお願い申し上げます。最近の福祉を取り巻く環境は、施策の変革、改変によって大きく変わってまいりました。その上、近年の私事化による行政の地域への対応の変化も見えない形で私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

現在の当分区の日常活動については、いちおうご承認頂きましたので、現状を踏まえながらより効果的に活動を進めなければならぬと思っております。

さて、地域福祉の推進を担っています当分区と致しましては、変革改変による地域の皆さんの生活上の変化やそれに伴

上の不便から起る要請に耳を傾けながら皆様のご期待にこたえるべく努力すると同時に来るべき時代の対応を考えなければなりません。

今に思いを致すことは容易ですが、未来の姿を考えることは難しいことです。それは、少子高齢化社会を抜きにしては考えることはできません。十年、二十年後の姿を今からどう考えたらよいのでしょうか。歴史的に未経験な超高齢化社会への対応は、一分区の課題ではありません。地域全体の夢の話でなく現実起こる話で、少子時代といわれるこれからの子ども世代にかかってくる大課題です。

課題を考える上では、地域の仕組みや住民の意識の転換が必要になってきます。地域の皆さんはもちろん、地域社会のために日夜活動しておられる各種団体の皆さんのお知恵を得たいと存じますのでお寄せ頂きたいと思えます。

分区関係者一同、微力ではありますが、明日に向けて「だれもがしあわせにくる。格段のご支援をお願い致します。



第十三回総会報告とお願い

北六甲台分区長 蘆田 敏郎

平成20年度 北六甲台分区役員名簿

【全体】

担 当	氏 名	担 当	氏 名
分 区 長	蘆田 敏郎	相 談 役	津守 芳徳
副 分 区 長	田中 弘子	監 査	網本 四郎
	溝口 恵子		一階 郁子
	横瀬 博		望月 本克
会 計 局 事 務 局	新井 昌子		
	井上 さち子		
	山田 万里子		

【専門部】

担 当	氏 名	担 当	氏 名
地域交流部 (ふれあい喫茶) 北六甲台	横井 庄子	研 修 部	本郷 克子
	棚原 利恵子		浅井 勲
	松尾 智子		竹内 安子
(ふれあい喫茶) 上山口東	松井 博子	財 務 部 (募金・会員会費)	渡邊 文子
	山田 米子		安谷屋 昇
	倉本 和正		暮石 良子
子育て支援部 (ともだちつくろう)	片桐 文代		浦田 博子
	若松 純代		坂口 公英
	栖川 真子		西村 義久
	小野寺 和子		増富 忠義
	土屋 薫		矢沢 光兼
	秋山 百代	広 報 部	井澤 淳子
	黄河 りつ子		日高 昭夫
	東島 典子		吉田 和男
	福井 美也子		富永 勝美
	塩野 康子	ボランティアセンター	黒瀬 洋子
高齢者福祉部	浅井 喜代子		古南 圭子
	荻野 キミ子		岸本 芳子
	池畑 久		井澤 淳子
	久保田 恵美子		小野寺 和子
	永田 辰雄		山田 万里子
	橋本 清		溝口 恵子
	片山 忠		田中 弘子
	山田 啓次		井上 さち子
障害者・児福祉部	瀬戸 泰博		横井 庄子
	中村 力男		本郷 克子
	森 載子		渡邊 文子
	眞田 一子		上野 智子
	上野 智子		
	石田 美代子		
	葦田 里子		
	岸本 芳子		
	宗村 泰明		
	土井 満喜子		



20年度がスタートし、部員も新しいメンバーになりました。昨年同様、皆さんに情報をお知らせし、「ぬくもり」を読んで頂けるよう頑張ります。

後期高齢者医療制度について

研修部 本郷克子



西宮市高齢者医療保険グループ
保険料チーム係長 田口秀樹氏

今年の4月からすでに実施されている後期高齢者医療制度ですが、高齢者切り捨ての制度ではないか、あるいは、ていのよい姥捨て山ではないかといった疑問や批判が噴出しています。

国会でも、見直し案や果ては廃止案まで提出されていますが、この制度が従来の老人保健制度の将来を見越しての制度であるところから、廃止ということは難しいと予想されます。

それならば、現在あるこの制度を受け入れるにしても批判するにしてもまず正しく知ることが先決であろうという意図でこの講座が企画されました。

梅雨晴れの6月13日、このような意図のもと北六甲台自治会館にて、講師に西宮市高齢者医療保険グループの田口秀樹係長をお願いし、30数名の参加者を前に講演をしていただきました。

従来の老人保健制度は市町が運営主体でしたが、県が主管する後期高齢者医療広域連合に移行したこと、自己負担割合の判定が7月までと8月以降では異なること、給付額、保険料の計算と軽減措置などについて例を挙げて丁寧なお話がありました。

しかし、75歳以上と一口にいても、保険の種類や収入については人それぞれ異なっていて、保険料や保険料の軽減の計算をするのは容易ではありません。また、自己負担割合を1割にするためには自分で申請せねばならないなど、自分で申請、申告をするものがあります。市政ニュースなどで告知があったとしても、75歳以上の高齢で、しかも独居である場合など、受けられるはずのサービスが受けられない可能性があります。その事実が判明した場合、救済措置はあるようですが、判明するまでの道筋は楽なものではないでしょう。

このように考えますと行政は、この制度が施行される前から、もう少しきめ細かな説明会を開き、該当者からの質問も真摯に受ける姿勢があってしかるべきであったと思われます。質問はいつでも受け付けるとのことでしたが、そればかりでなく、行政のほうからの積極的な働きかけを工夫していただきたい

ご協力ありがとうございました



日赤社資募金の結果

日赤社資 254,000円
(寄付金を含む)

街頭募金 41,453円

合計 295,453円

6月13日現在



「最初はこわくて遊べなかったけど、だんだん慣れてきて、みんな楽しそうに遊んでいました。先生も一緒に遊んでくれて、ありがとうございました。」

五月三十日(金)、山口中学校の二年生四人(男子一名、女子三名)が分区分活動の「ともだちつくり」に参加しました。分区分長から説明を受けた後、スタッフと一緒にマッ

トライ・やる・ウィーク
中学生たちの幼児とのふれあ

